



令和7年(2025年)11月28日(金)発行



令和7年度 全国学力・学習状況調査

4月17日に3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を受け、本校3年生の国語、数学、理科、質問紙の調査結果をまとめました。全国平均と比較し、全体の傾向と本校の課題、差異が大きい、肯定的な回答が多いまたは少ないなど、本校の生徒の特徴的な結果に注目し、改善の方向について検討するとともに、今後の栄中学校の教育活動に生かしていきたいと考えております。

なお、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会としての調査結果につきましては、それぞれのホームページで閲覧することができます。

【生徒質問調査】生活習慣や学習環境等に関する調査の結果概要及び改善の方向性について

1. 生活習慣に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
朝食を毎日食べていますか、またはどちらかといえば当てはまる	89.4%	91.2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか、またはどちらかといえばしている	88.9%	81.0%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか、またはどちらかといえばしている	92.4%	92.6%

寝不足による体調不良を訴え、保健室を利用する生徒もおります。今後も、規則正しい生活習慣について、ご家庭でもご指導いただければ幸いです。

2. 生徒自身に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
自分には、よいところがあると思いますか、またはどちらかといえば当てはまる	87.9%	86.2%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか、またはどちらかといえば当てはまる	81.8%	92.9%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか、またはどちらかといえば当てはまる	98.2%	95.9%
将来の夢や目標をもっている、またどちらかといえば当てはまる、またはどちらかといえば当てはまる	69.7%	67.5%
学校に行くのは楽しいと思う、またどちらかといえば当てはまる、またはどちらかといえば当てはまる	84.4%	86.1%
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見やよさを生かして解決方法を決めていると思いますか、またはどちらかといえば当てはまる	84.9%	84.3%

「認められている」「自分が大切にされている」と実感できる指導や声掛けなど、積極的なコミュニケーションを増やし子ども一人一人に合わせた適切な関わりができるよう、これまで以上に生徒理解に努めていきます。また、将来への目標をもち、学ぶことの必要性を感じて、生き生きと生活できる学校づくりに努めていきます。

3. 学習に関わること

回答項目	本校の割合	全国平均
授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思う、またはどちらかといえば当てはまる	73.2%	76.5%
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると思う、またはどちらかといえば当てはまる。	67.7%	73.4%
あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができると思う、またはどちらかといえば当てはまる。	86.9%	76.6%

学習内容を確実に身に付けることができるよう、子ども一人一人の学習状況を丁寧に捉え、TT授業や学びのサポーターの協力を得るなど個に応じた支援を一層行っていく必要があると感じております。今後も「学びのコントローラーをもっているのは子ども自身」というコンセプトを基に、課題探究的な学習を効果的に取り入れながら、主体的に学習に取り組む態度を育みたいと思います。

【国語】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p>□「読むこと」 ・全国平均を上回っている。</p>	<p>●文章に即して漢字を正しく使うこと。</p> <p>●自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること。</p> <p>●書く内容の中心が明確になるように、内容のまとまりを意識して文章の構成や展開を考えること。</p> <p>●文章の構成や展開について根拠を明確にして考えること。</p>	<p>○現在、取り組んでいる漢字練習を継続し、感想や作文活動の中で漢字を確かめながら使う学習を充実させます。</p> <p>○授業における話し合い活動において、話題を明確に提示します。また、互いの発言を結び付け、話し合った内容を踏まえて自分の考えをまとめる活動を充実させます。</p> <p>○「書くこと」の指導において、ワークシート等で手順に沿って記述することで、目的、伝えたいこと、具体的な内容を明確にする活動を充実させます。</p> <p>○「読むこと」の指導において、説明的文章の読み取りを丁寧に行います。意見や根拠、根拠との結び付きに着目し、構成や展開に着目する学習を充実させます。</p>

【数学】

本校の概要	課題	改善の方向
<p>【領域】</p> <p>□「数と式」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「図形」 ・全国平均を上回っている。</p> <p>□「関数」 ・全国平均をやや上回っている。</p> <p>□「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるがやや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 目的に応じて式を変形したりその意味を読み取ったりして事柄が成り立つ理由を説明すること。 ● 証明を振り返り、証明された事柄を基にして、新たに分かる辺や角についての関係を見いだすこと。 ● 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ● 選択式→短答式→記述式の順で正答率が低くなる。特に記述式は、どの領域も正答率が40%に満たないものが多い ● 相対度数の意味を理解すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計算は、日常的な練習を重ねて自信をつけさせていく。 ○ 考えたことを判断したり表現することができるようにするために、自分の考えを自分の言葉で表現させる機会を十分に用意する。 ○ 実物をイメージさせながら、図形認識を深め自在に図形を動かせるようにトレーニングする。 ○ 関数の意味合いを深く認識させるために様々なパターンを扱う。 ○ 考えたことを判断したり表現することができるようにするために、自分の考えを自分の言葉で表現させる機会を十分に用意する。 ○ データの整理について、時間をかけて取り組み、整理の仕方にそれぞれの意味やねらいがあることを理解させる。

【理科】

課題	改善の方向
<p>「エネルギー」を柱にする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ストローの太さと音の高低に関する情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付けること。 <p>「粒子」を柱にする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 塩素の元素記号を問うことで、元素を記号で表すことに関する知識及び技能が身に付けること。 <p>「生命」を柱とする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スケッチから分かることを問うことで、スケッチに関する知識及び技能が身に付けること。 <p>「地球」を柱にする領域</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 露頭のどの位置から水が染み出るかを観察する場面において、小学校で学習した知識を基に、地層に関する知識及び技能を関連付けて、地層を構成する粒の大きさとすき間の大きさに着目して分析して解釈すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探究のプロセスをより明確に学習を行う。特に、実験・観察の場面では自分事として課題をとらえたうえで、実験・観察の「どの部分に着目すればよいか」を考えさせ、実験・観察→記録→考察→新たな課題の流れを意識させる学習活動の充実。 ○ 結果をモデル・表・グラフなどを用いて、表現・説明したり、探究の過程の中で他者と意見を交流したりする学習活動の充実。 ○ 元素記号や基本用語など、理科の基礎知識について確認テスト・小テストを定期的実施するなどして、定着を図る学習活動の充実。 ○ 観察・実験の技能を習得するための時間を確保する。 ○ 既習内容との関連を明確にし、体系的な理解を促す学習活動の充実。 ○ 地域の自然や身近な現象(天気、地形、植物など)を観察する課題を設定し、生活に根ざした科学的な視点を養う学習活動の充実。